



# かけこ通信

令和4年度第1号  
令和4年5月13日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

## 令和4年度入学式を行いました

4月11日（月）、掛合分校講堂において、令和4年度入学式を行いました。

暖かい春の爽やかな日差しが差し込む中、今年度の新入生30人と保護者の皆様、教職員参列のもと、晴れやかなムードの中で式が行われました。山崎誠校長からは、新入生に向けて「小さな挑戦、小さな気遣い、大きな志～自立した大人となるために～」との言葉が贈られ、小さな一歩一歩の積み重ねや他者を気遣うふるまい、何事も志を持って意欲的に取り組むことの大切さが語られました。この言葉が掛合分校全校生徒、教職員の今年度の合い言葉となります。入学式のあとは、玄関前で保護者の皆様、教職員全員を交えて記念撮影を行いました。春のやわらかな風に桜の花びらが舞う中、掛合分校の建つ「佐中の丘」に皆の笑顔があふれる一日となりました。



## 2年生が新入生に地域探究学習の成果を発表しました

4月12日（火）、新入生オリエンテーションの一環として、2年生が昨年度取り組んだ地域探究学習の成果を発表しました。

掛合分校では、1年の「総合的な探究の時間」に、雲南市掛合町内の5地区（多根、松笠、掛合、入間、波多）に分かれて地区ごとの現状と課題を調査し、課題解決策を提案する学習を行っています。この日は、2年生が1年生に向けてその成果を発表し、それぞれの課題認識を共有する活動を行いました。このうち多根地区を担当した2年生は、獣害を防ぐために柿を取り、その余った柿を使った「柿ジャム」の製作を提案したことを発表しました。その他、地元小学生が描いた絵を取り入れたカレンダー作りやその地区をPRする動画・リーフレットの作成など、それぞれが高校生らしい視点で提案したことを発表しました。

1年生の「総合的な探究の時間」のスタートにあたって、2年生のこれまでの取組と成果が1年生に引き継がれることによって、地域探究学習を通じた地域貢献がより一層進むことを期待しています。



## 2年生と教職員の有志が「音訳ボランティア」を行いました

4月21日（木）、2年生と教職員の有志が「音訳ボランティア」を行いました。「音訳ボランティア」とは、視覚に障がいがある方のために、墨字（活字）で書かれている書籍や雑誌、広報誌などを音声にして伝えるボランティアです。この日は、雲南市ボランティアセンター（雲南市社会福祉協議会内）の方に掛合分校に来ていただき、「社協だより『うんなん』第69号」（2022年4月発行）の文面を、



2年生と教職員の有志が交代で読み上げ、その音声を録音する作業を行いました。広報誌は専門用語も多く、またグラフで示した資料などもあるため、それを音声として録音することには時間もかかりましたが、この活動を通して、相手に分かりやすく伝えることの大切さについて考える良いきっかけともなりました。

## 生徒総会を行いました

5月6日（金）、今年度第1回目の生徒総会を行いました。新生徒会長の常松博樹さん（3年）から、今年度前期の役員が紹介され、新体制がスタートしました。常松生徒会長からは「掛合分校がたくさん笑顔であふれる学校となるよう頑張ります。」と力強い挨拶のことばが語られました。また、各委員会の委員長からは図書館利用やバス通学マナー向上に向けた取り組み、新型コロナウイルス感染症対策の徹底など、全校生徒に向けての呼びかけが行われました。今年度も活発な生徒会活動が期待されます。



## 2年生が雲南市プレミアムつや姫「たたら焰米(ほむらまい)」「うやま米」の販売促進プランを提案する探究学習が始まりました



5月9日（月）、2年生が雲南市吉田町の宇山営農組合、雲南市、その他関係諸機関と協働しながら行う探究学習がスタートしました。2年生は今年度1年間かけて、雲南市吉田町民谷宇山地区のお米作りの一部を体験学習し、そこで生産される雲南市プレミアムつや姫「たたら焰米(ほむらまい)」「うやま米」の販売促進プランを提案する学習活動を行います。この日は、同地区の水田を訪れ、およそ10アールの水田に「つや姫」の苗を手植えする作業を行いました。

標高500メートルの水田で育った稲は、昼夜の寒暖差の影響もありよく育ち、「たたら焰米(ほむらまい)」あるいは「うやま米」の名称でブランド米として流通しています。掛合分校では、昨年度から本格的に宇山営農組合、雲南市、その他関係諸機関との協働を始め、今年度は昨年度のノウハウも生かしながら、高校生らしい目線で更なるPR活動を行うことを考えています。

この日は、初めて水田に入り苗の手植えを行う生徒も多く、泥まみれで悪戦苦闘しながらも、予定されていた区域の田植え作業を終えることができました。体験した生徒には、ほどよい疲れの中にも達成感に満ちあふれた笑顔がたくさん見られました。

今後は、お米の生産から販売にいたる様々な専門家をゲストティーチャーとして招きながら、販売促進プランの提案活動を行います。また、秋にはこの日植えた稲の稲刈り体験学習を行い、11月4日・5日に行われる掛合分校文化祭や11月中旬に販売所等で行われる特別販売会において、生産されたブランド米の販売促進活動を行う予定です。





# かけこう通信

令和4年度第2号  
令和4年6月15日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

## 掛合小学校との交流活動を行いました ～絵本の読み聞かせ、コラボ昼休み活動～

5月27日（金）、隣接する掛合小学校を2年生7人が訪れ、子どもたちに絵本の読み聞かせを行いました。掛合分校では、月1回、全学年生徒が交代で小学校にお邪魔し、朝の「ほほえみタイム」の時間に、あらかじめ選んできた絵本を小学生に読み聞かせ、紹介しています。今年度初めてとなるこの日、最初は緊張した様子も見られましたが、小学生が途中うなずいたり、笑ったりしながら話を聞く姿を見て、徐々に緊張もほぐれ、それぞれ気持ちのこもった読み聞かせを行うことができました。



また、6月8日（水）、掛合小学校との昼休み合同レクリエーション活動を行いました。体育委員会が主体となって事前に計画し、グラウンドでドッチボール、サッカー、縄跳びなど、高校生と小学生と一緒に、楽しいひとときを過ごしました。小学生がお兄さん、お姉さんの手を引き、遊びに招き入れる微笑ましい姿も見られました。

## キャリア教育講演会を行いました

5月31日（火）、全学年生徒を対象にキャリア教育講演会を行いました。この日は、株式会社さんぼうから講師をお招きし、学年別に「上手なメモの取り方と上手な手帳の使い方」について講義・演習を行いました。はじめに講師の先生から、メモやノートの取り方のコツや、シールやスタンプを活用した楽しい手帳作りの工夫を教わりました。その後、実際に6月の予定を手帳に書き込み、生徒同士それを見比べるなどして体験的に学ぶことができました。



## 1年生の地域探究学習がスタートしました



6月1日（水）、1年生が地域探究学習の一環として、掛合町内の名所・旧跡や資料館等を巡り、調査する活動を行いました。1年生は「総合的な探究の時間」を利用して、毎年度、掛合町内の5地区（多根、松笠、掛合、入間、波多）の現状と課題を調べ、グループに分かれて課題解決策を提案する学習活動を行っています。この日は、その活動のスタートとして、掛合町内の名所・旧跡等のフィールドワークを行いました。

このうち入間地区では、入間交流センター職員の方の案内で「八重山神社」を訪れました。八重山神社は、江戸時代から牛馬の守護神として地域の方に崇敬され、現在でも春・秋の祭典には多くの参拝者が訪れる神社です。およそ300段近くある長い石段を登ると、絶壁の岩のくぼみに本殿があり、掛合



町内の隠れたパワースポットを肌身で感じることができました。そのほかにも、竹下登元首相の生家「竹下本店」内にある「かけや酒蔵資料館」、日本の滝百選の一つにも選ばれている「龍頭が滝」や「波多神社」などを巡りました。

今後は各地区の調査活動をさらに進め、11月4日・5日に行われる掛合分校文化

祭において課題解決策の中間発表を行う予定です。



## 全校生徒を対象に校外進路学習を行いました



6月9日(木)、全校生徒を対象とした校外進路学習を行いました。この日は、午前中、就職希望者は「三刀屋金属株式会社」と「株式会社ひかわ」を、進学希望者は「坪内総合ビジネスカレッジ」と「松江栄養調理製菓専門学校」を訪れ、それぞれ見学を行い、午後は松江テルサを会場に、合同で企業・学校別の説明会を行いました。

このうち、就職希望者が訪れた「三刀屋金属株式会社」では、自動車部品のプレス加工や溶接加工の様子を見させていただきました。

また「株式会社ひかわ」では、実際にこの工場で作られたお茶を試飲させていただきました。

全学年合同縦割りグループでの進路学習は、少人数のメリットを生かした掛合分校ならではの取り組みです。就職・進学を前にした3年生の真剣な眼差しは、後輩の1・2年生にも刺激となったようです。

## 部活動報告

### ～県総体剣道部門出場、演劇同好会ドキュメンタリー映画上映～

6月4日(土)、益田市民体育館で行われた島根県高校総体剣道部門に、常松博樹さん(3年)が出場しました。昨年度のベスト16を越える結果とはなりませんでしたが、高校生活最後の県総体を悔いなく、掛合分校代表としてよくぞ頑張ってくれました。

また、6月5日(日)、雲南市木次町のチェリヴァホールにおいて、掛合分校演劇同好会の活動を追ったドキュメンタリー映画「走れ! 走れ走れメロス」が上映されました。演劇同好会の曾田昇吾さん、常松博樹さん、石飛圭祐さん、佐藤隆聖さん



(いずれも3年)の4人は、昨年度、同タイトルの演劇が高く評価され、3月に東京下北沢で行われた日本演出者協会「若手演出家コンクール2021」最優秀賞獲得に貢献しました。この日上映された映画は、昨年の地区大会から東京公演に至るまでの過程を、メンバー4人の活動や心情の変化にスポットをあてて描いたドキュメンタリー映画です。会場は多くの観客で埋め尽くされ、笑いあり、涙ありの感動的な作品が披露されました。上映後に行われたトークショーでは、メンバー4人と観客との楽しい対話が繰り広げられました。観客からは、メンバーの高い演技力と豊かな感性、そして個性溢れるメンバーのチームワークの高さを賞賛する声が数多く聞かれました。





# かけこ通信

令和4年度第3号  
令和4年7月20日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

## 掛合町内保・小・中・高が連携して「ごみゼロ大作戦」を行いました

6月16日（木）、掛合町内保・小・中・高が連携して地域の清掃活動等を行う「ごみゼロ大作戦」を行いました。この日は、児童・生徒が町内各地区に分かれ、清掃活動や交流活動を行いました。

このうち掛合地区では、狭長（さなが）神社の清掃活動の他、今年度新たな取り組みとして、避難所運営ゲーム「HUG」を行いました。

「HUG」とは、地震や豪雨など大規模災害時の応急対策活動の場面を想定して、グループのメンバーでコミュニケーションを取りながら、

平面図上で避難所運営を疑似体験するシミュレーションゲーム

です。掛合中学校に集合した児童・生徒は6つのグループに分かれ、それぞれ大人たちとの意思疎通を図りながら、ゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができました。その他の地区においても、清掃活動後にジャンケンゲームで楽しむなど、児童・生徒、地区の住民の方との交流を深めることができました。



## 2年生の地元ブランド米販売促進プロジェクト進行中！

6月17日（金）、今年度2年生が取り組んでいる、雲南市プレミアムつや姫「たたら焔米（ほむらまい）」販売促進のためのキャンペーン企画を考える学習を行いました。この日は、

有限会社アエラ地域文化デザイン室の影山邦人様、安田陽子様をゲストティーチャーとしてお招きし、「たたら焔米をめっちゃ食べてみたくなるPRキャンペーンを考えよう！」と題した学習活動を行いました。プロのデザイナーの視点で様々なアドバイスをいただき、生徒は、キャンペーン名やキャッチコピーなどのイメージをますます膨らませているようでした。

また6月22日（水）、宇山営農組合（雲南市吉田町）の藤井章組合長と須山光雄副組合長をお招きし、お米の特徴や米作りの工夫、宇山地区農家の方の米作りに対するこだわりや熱い思いをインタビュー形式で学ぶ学習活動を行いました。今後は、チームに分かれて販売促進プランを考え、9月の稲刈り体験学習に合わせて農家の方に中間発表した後、11月4日・5日の掛合分校文化祭や、同月に道の駅等でお米の特別販売会を行う予定です。



## 3年生を対象に就職ガイダンスを行いました

7月1日（金）、外部から専門の講師をお招きし、3年生を対象に就職ガイダンスを行いました。この日は、高校新卒者の就職環境や社会に出て仕事をするにあたっての心構えなどの基礎的な知識を学んだ後、グループディスカッションや自己紹介文の作成などの演習を行いました。午後は、実際に集団面接を受ける場面を想定し、模擬面接とその評価を相互に行い、最後にその振り返りを行いました。就職・進学に向けた活動の本格始動にあたって、自分自身を振り返り、今後の取り組みへの準備を行う大変よい機会となりました。



## 3年生が林業体験学習を行いました

7月13日（水）、島根県中山間地域研究センターと島根県立農林大学校林業科（いずれも飯石郡飯南町）において、3年生が林業体験学習を行いました。この学習は、島根県農林水産部が行っている「高校生の林業教育推進事業」に掛合分校が申し込むことによって実現した企画です。

この日は、同センターの広大な敷地内にある研究施設等を見学した後、薬用効果があるとして注目されている「クロモジ茶」の煮出しと試飲を行いました。その後、研究員の方からの講義を受け、中山間地域における持続可能な自然環境保全や創造的活動について、その現状と課題を知ることができました。また、午後からは、農林大学校の学生さんたちのご指導により、ドローンの操作実習や丸太の切り出し



体験、重機の運転実習を行いました。VRを使った重機の運転演習など、島根県が誇る最先端の機器に触れることができ、島根県の農林業の先進性を肌身で感じる事ができたようでした。

## 「先輩は語る」 ～掛高卒業生から後輩へのメッセージ～

7月15日（金）、令和2年度に卒業した4名の卒業生をお迎えし、就職・進学後の現在の状況などについてお話をうかがいました。この企画は、毎年度2回行っており、第1回目となる今回は、2名ずつ2会場に分かれ、それぞれ在校生からの質問に答えながら進めていくトーク形式で行いました。卒業生からは、就職・進学後の苦労話や高校生と社会人との違いなど具体的なエピソードを交えながら語っていただきました。在校生からは「上司とのコミュニケーションで気をつけていることは何か」「就職後の職場内訓練はどのようなことを行うのか」などたくさん質問があり、それらの質問に丁寧に答えていただきました。就職・進学2年目を迎える卒業生の生の声を聞くことができ、生徒たちは自身の進路について身近に考えるきっかけとなったようでした。





# かけこ通信

令和4年度第4号  
令和4年8月31日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

## 令和4年度体育祭

7月21日（日）、令和4年度体育祭を開催しました。当初はグラウンドでの開催を予定していましたが、天候不良の日が続いたため、開催日と会場を変更し、掛合体育館での開催となりました。

開会式で赤組色長の常松博樹さんと青組色長の曾田昇吾さんが声高らかに選手宣誓を行った後、7種目の競技を行いました。午前中の締めくくりとして行われた「応援合戦」では、鮮やかなデコレーションをバックに、両軍華やかな手作り衣装を身にまとい、これまで練習してきたダンスを見事に披露しました。また、午後に行われた「借り物競走」では、「好きな人を連れてゴール」とのお題に、クラスメートみんなを連れてゴールするという微笑ましい姿も見られ、会場内が笑顔に包まれていました。

閉会式後に学校に場所を移して行われた色別反省会では、3年生を中心にこれまでの頑張りをお互い讃えました。荒天にも負けず大盛会のうちに終わった今年度の体育祭。互いを敬い、助け合いながら築き上げられてきた「掛高魂」は、今後、後輩たちに引き継がれていきます。



## 雲南市スペシャルチャレンジジュニアプログラム 審査会で発表しました

7月24日（日）、雲南市が主催する「スペシャルチャレンジジュニアプログラム」第5期の審査会が行われ、掛合分校から上代侑芽さんと坂田志織さん（いずれも2年生）がこれまで準備してきたプロジェクト案を発表しました。「スペシャルチャレンジジュニアプログラム」は、高校生が地域課題の解決策などを主体的に企画し、その実現に向けて雲南市が物的・人的な支援をしていくプログラムです。

この日、上代さんと坂田さんは「柿ジャムサンドを作ろう！！」と題したプロジェクトを発表しました。雲南市掛合町多根地区では、昨今鳥獣被害が深刻な課題となっており、その解決のために、秋に高校生を中心に余分な柿を取り、地域の方とともにそれを使った「柿ジャムサンド」を作るイベントを開くというプロジェクトです。地域の子どもから大人まで、みんなが楽しみながら課題を解決していこうという提案で、審査員の方からは、その斬新なアイデアに賞賛の声をいただきました。地域貢献に向けて今後の活躍が期待されます。



## 掛合分校オリジナル「掛高基礎力テスト」を行いました

8月29日（月）、今年度第1回目となる「掛高基礎力テスト」を行いました。このテストは掛合分校の全ての教職員が出題者となり、それぞれの専門分野に関する内容はじめ、昨今の時事問題にいたるまでの幅広い一般常識を問う、掛合分校オリジナルの実力テストです。

試験後は、問題作成者である教職員が、各教室にリモートで説明資料を配信するなどして、丁寧に解説しました。将来社会生活を営む上で大切となる基礎的な知識・技能を、今後もこのオリジナルテストを継続することで育てていきます。



## 部活動報告

### ～春季写真コンクール、演劇同好会ドキュメンタリー映画新たな展開～

《写真クラブ》

島根県高文連写真専門部春季写真コンクール 特選4点（入選は7点）

佐藤里咲さん（3年）『花を咲かせて』、土屋拓万さん（3年）『ひらり』

山根直弥さん（3年）『花と蜂』、加藤凜さん（1年）『見慣れた風景』

《演劇同好会》



佐藤里咲さん作品『花を咲かせて』



## 掛合分校演劇同好会が再び演劇の聖地「下北沢」へ

演劇同好会の活動を追った折口慎一郎監督のドキュメンタリー映画『走れ！走れ！メロス』が、第14回下北沢映画祭（9月23日～25日開催）のコンペティション部門にノミネート（応募390作品中9作品）されました。演劇同好会は今年3月に東京・下北沢で演劇公演を行ったばかり。乞うご期待です！



# かけこ通信

令和4年度第5号  
令和4年9月16日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

## 1年生「地域探究学習」掛合町内各地区で進行中！

1年生は、「総合的な探究の時間」を利用して、掛合町内5地区（波多、入間、掛合、松笠、多根）に分かれ、地域の現状と課題を調査し、その解決に向けた提案と活動を行う「地域探究学習」を行っています。9月5日（月）、波多地区を担当する5人の生徒が波



多交流センターを訪ね、職員の方から聞き取り調査を行いました。波多地区では、地域活性化に向けて関係人口の創出に力を入れておられ、職員の方から今年11月14日に数年ぶりの開催を予定している地域の伝統行事「囃子（はやしこ）」についての説明を受けました。その他の地区においても同じように、調査活動を進めています。今後、地区ごとに課題解決策を考え、それを実現するための行動プランについて検討し、11月4日（金）・5日（土）に行われる掛合分校文化祭で中間発表する予定です。

## 2年生が地元企業見学に出かけました

9月7日（水）、2年生が地元企業見学に出かけ、島根イーグル株式会社、協栄金属工業株式会社（ともに雲南市掛合町）、株式会社アルプロン、株式会社山光（ともに雲南市加茂町）の4社を見学させていただきました。



このうち、株式会社アルプロンでは、プロテインの製造が行われており、プロテインについての全体説明を受けた後、徹底した衛生環境対策が施された工場内できめ細かな手作業で行われているプロテインの製造工程を見学させていただきました。また、株式会社山光では、自動車の各種ケーブル類の製造が行われており、たくさんの大型機械を用いた部品製造と高い品質を生み出す生産システムについて学ばせていただきました。



いずれの企業においても、企業の経営理念から社員の福利厚生にいたるまで丁寧に教えていただき、将来の進路選択にあたって大変参考となる貴重な学習をさせていただきました。

## 保健講演会～ハーモニカ奏者 岩崎巖さんによる演奏～

9月9日（金）、県内外でご活躍されているハーモニカ奏者の岩崎巖（いわさき いわお）さんを招いて、全校生徒を対象に保健講演会を行いました。岩崎さんは、島根県の中学校教員をご退職後、視覚に障がいを持ちながら、セカンドキャリアとしてハーモニカ演奏を通じた平和学習や命の尊さを伝える各

種講演等を行っていらっしゃいます。この日は、「わくわくどきどき 心地よく ～出逢いに感謝～」と題し、途中ハーモニカの演奏を交えながら、出逢いと「思い合う心」の大切さについて語っていただきました。尾崎豊さんの「I LOVE YOU」や

ドラマ主題歌「北の国から」など、生徒・教職員に馴染みの曲も多く、透き通ったハーモニカの音色を通して、平和の尊さや生きる喜びについてそれぞれが思いを馳せる、心温まる時間となりました。



## 3年生が「地域ツーリズム」について学びました



9月14日（水）、3年生が学校設定科目「地域創造」の時間を利用して、「地域ツーリズム」について学習をしました。この日は、雲南広域連合の鈴木佑里子様を外部講師としてお迎えし、雲南地域の観光促進策や国内観光客のニーズなどについて、ワークショップを交えながら講義をしていただきました。この講義で学んだことを参考に、今後3年生は4つのグループに分かれ、雲南市に観光客を呼び込むプランを立案する学習を行い、11月4日（金）・5日（土）に行われる掛合分校文化祭で発表する予定です。高校生目線でどのような観光プランが出されるのか、今後の活動に期待します。

9月14日（水）、2年生が雲南市吉田町民谷宇山地区を訪れ、宇山営農組合、雲南市等関係者と協働して進めている「雲南市ブランド米販売促進プロジェクト」の一環で、春に自ら植えた稲の稲刈り作業に合わせて、これまで考えてきたプランの中間提案を行いました。2年生は「キャラクター作成班」「料理・レシピ作成班」「デザイン・写真作成班」「動画作成班」の4つの班に分かれ、それぞれプレゼンテーションしました。発表後には、生産者・販売者・行政といった様々な立場の関係者の皆様から、各班それぞれにコメントをいただき、生徒たちは今後の活動に向けて、より一層イメージを膨らませているようでした。午後は2つのグループに分かれ、稲刈りと粃すりの作業を体験学習させていただきました。稲刈り体験では、コンバインに乗車させていただき、農家の方から手ほどきを受けながら、コンバインの操作方法を教えてくださいました。

## 2年生が雲南市ブランド米「たたら焰米(ほむらまい)」「うやま米」の販売促進プランの提案と稲刈り体験学習を行いました

9月14日（水）、2年生が雲南市吉田町民谷宇山地区を訪れ、宇山営農組合、雲南市等関係者と協働して進めている「雲南市ブランド米販売促進プロジェクト」の一環で、春に自ら植えた稲の稲刈り作業に合わせて、これまで考えてきたプランの中間提案を行いました。2年生は「キャラクター作成班」「料理・レシピ作成班」「デザイン・写真作成班」「動画作成班」の4つの班に分かれ、それぞれプレゼンテーションしました。発表後には、生産者・販売者・行政



行政といった様々な立場の関係者の皆様から、各班それぞれにコメントをいただき、生徒たちは今後の活動に向けて、より一層イメージを膨らませているようでした。午後は2つのグループに分かれ、稲刈りと粃すりの作業を体験学習させていただきました。稲刈り体験では、コンバインに乗車させていただき、農家の方から手ほどきを受けながら、コンバインの操作方法を教えてくださいました。



今後は、関係者の皆様からいただいたご意見をもとにしながら、販売促進のためのポスターや動画などを作成し、11月4日（金）・5日（土）に行われる掛合分校文化祭、さらには道の駅などで行われるお米の特別販売会などで販売実習を行う予定です。



# かけこ通信

令和4年度第6号  
令和4年10月14日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

☆☆掛合の丘に輝く分校の灯☆☆ ~掛合分校は令和5年(2023年)に創立70周年を迎えます~

## 《予告》11/4(金)・5(土)文化祭開催

- (1) 期日 11月4日(金)と5日(土)の2日間
- (2) 場所 掛合体育館(雲南市掛合総合センター前)  
※駐車場は、掛合体育館裏の「掛合総合センター第2駐車場」をご利用ください。
- (3) プログラム  
1日目(11/4)・・・生徒研究発表、演劇同好会発表、各委員会・部・クラブ活動展示、等  
2日目(11/5)・・・生徒会企画、Utabu(うたぶ)発表、各委員会等展示、等
- (4) 雲南市ブランド米(新米)の特別販売会について  
今年度、2年生が雲南市、宇山営農組合(雲南市吉田町)ほか関係機関とのコラボにより、雲南市ブランド米であるプレミアムつや姫「たたら焔米(ほむらまい)」と「うやま米」の販売促進活動を行っています。開催期日の両日とも、会場入口付近ホールにてそのコラボ米(新米)の特別販売会を予定していますので、是非お立ち寄りください。
- (5) PTAカフェでの飲み物・焼き菓子等販売(11/5のみ)について  
2日目(11/5)は、会場入口付近ホールにて、PTA主催のカフェを出店します。コーヒー等温かい飲み物のほか、3年生フードデザイン選択者が作った焼き菓子等の販売を行います。当日カフェ運営のお手伝いができる保護者の皆様は、店舗スタッフにお声がけください。

## 1年生が郷土芸能「掛合太鼓」にチャレンジしています

9月14日(水)、1年生が地域の伝統芸能である「掛合太鼓」の講習会を受けました。「掛合太鼓」は、昭和57年に島根県で開催された「くにびき国体」において旧掛合町が相撲会場となったことを受けて、大会を盛り上げようと立ち上げられ、その後、40年以上にわたって町をあげて取り組まれてきた県内でも有数の郷土芸能です。

この日は、掛合太鼓保存会の堀江亮次さんを指導者としてお迎えし、掛合太鼓の歴史をDVD視聴で学んだ後、実際に太鼓の叩き方の基礎を教えていただきました。1年生は「総合的な探究の時間」を利用した「地域探究学習」として、掛合町の生活・文化・産業等を学び、その現状と課題を調査する学習を行っています。町内5地区(波多、入間、掛合、松笠、多根)の個別の課題解決策提案に加え、クラス全体として掛合太鼓にチャレンジし、地域をより一層盛り上げていこうと励んでいます。この日の講習会をスタートとして、今後練習を重ね、11月4日(金)・5日(土)に行われる掛合分校文化祭で発表する予定です。掛合分校生徒が地域の伝統芸能の担い手として、文化を継承する役割を果たしていくことを期待します。



## 第2回生徒総会を行いました

9月16日（金）、今年度第2回目の生徒総会を行いました。後期生徒会長の石原大地さん（2年）から、今年度後期の役員が紹介され、新体制がスタートしました。

石原会長からは、今年度後期の生徒会が目指す「地域の方々に愛される学校にする！」「全校生徒が協力し合える学校にする！」「気持ちの良い挨拶・言葉づかいの綺麗な学校にする！」の3つの目標が高らかに宣言されました。後期最大の生徒会行事は、11月4日（金）・5日（土）に行われる掛合分校文化祭となります。文化祭の成功と充実した学校生活の実現に向けて、生徒会活動がより活発に行われることを期待します。



## ようこそ！かけこうへ～掛合小2年生の分校たんけん～



9月16日（金）、掛合小学校の2年生児童11名が、「町たんけん」の学習として掛合分校の校舎内を巡りました。3つのグループに分かれて、鯉のいる池や玄関前のメタセコイアの3本の木、職員室・パソコン教室・図書館の各部屋を回りました。掛合分校からは「かけこウイズ」として6つの質問をあらかじめ用意しており、子どもたちはそのクイズの答えを探りながら、掛合分校の良いところを見つけていきました。

最後にクイズの答え合わせをし、大いに盛り上がりました。「たんけん」を終えた児童たちからは「何人の生徒さんがいますか」「音楽室には何の楽器がありますか」などたくさんの質問をもらいました。隣接する小学校との交流がより深まる1日となりました。またいつでも遊びにきてくださいね。

## 2年生が雲南市ブランド米であるプレミアムつや姫「たたら焰米（ほむらまい）」と「うやま米」の販売戦略を練っています

雲南市ブランド米であるプレミアムつや姫「たたら焰米（ほむらまい）」と宇山営農組合（雲南市吉田町）が出荷する「うやま米」の販売戦略プランを立案する2年生の探究学習が進んでいます。9月22日（木）と10月4日（火）、有限会社アエラ地域文化デザイン室の影山邦人さんと安田陽子さんをお招きし、PRキャラクターの名称やポスターのデザイン、PR動画の作成など、プロの視点からアドバイスをいただきました。掛合分校文化祭を皮切りに行われる特別販売会に向けて準備が進んでいます。



## 雲南市ブランド米「たたら焰米（ほむらまい）」検査買い入れ式で販売促進プロジェクトについて発表しました

9月28日（水）、JAしまね雲南地区本部大東農業倉庫において、雲南市ブランド米「たたら焰米

「ほむらまい」の検査買い入れ式が行われ、石飛厚志雲南市長をはじめお米の生産・販売に関わる多くの関係者を前に、2年生代表が現在進めているお米の販売促進プロジェクトの途中経過を発表しました。今秋雲南市内で収穫



された「つや姫」は、プレミアム要件に該当するかどうかを判定する厳しい認定検査を受け、その検査に合格したお米がプレミアムつや姫「たたら焔米（ほむらまい）」として出荷されます。この日は、その検査工程が広く公開されるのに合わせて、2年生がこれまでの取組の成果や今後の意気込みなどを発表しました。石飛市長からは販売促進活動を進めていく上でのアドバイスと激励の言葉をいただきました。



検査買い入れ式終了後は、Aコープ大東店に場所を移し、石飛市長他関係者の方とともに、来客者に「たたら焔米（ほむらまい）」のパックを手渡して配るPR活動を行いました。今後も掛合分校は雲南市ブランド米の販売促進活動を関係者の皆様とともに積極的に行っていきます。

## 校内球技大会を行いました



10月5日（水）、令和4年度校内球技大会を行いました。今年度の球技大会は、男女ともバスケットボールとバレーボールの2種目を行い、それぞれクラス総当たりのリーグ戦を行いました。

結果は、男子は2種目とも3年生が優勝、女子は2種目とも1年生が優勝しました。どのクラスも持っている力を存分に発揮し、全力のプレー・応援で好ゲームが展開されました。爽やかな秋の日に、クラスが一丸となってスポーツを楽しむ一日となりました。

## 教室の机・イスの脚に騒音緩和のためのテニスボールを設置しました

掛合分校の教室にあるすべての机とイスの脚に、騒音緩和のためのテニスボールを設置しました。テニスボールは、松江南高校硬式テニス部から使用済みで不要となったものを提供いただき、夏休み明けに教室のイスに設置していましたが、このたび、同校から追加のテニスボールの提供をいただき、机の脚にも設置することができました。

机とイスの脚にテニスボールを設置する取組は、全国のいくつかの学校ですで行われており、床との摩擦音からくる騒音を大幅に緩和することで、児童・生徒が落ち着いて学習に取り組むことができる環境を作り出す効果を実証されています。掛合分校では、生徒同士の「協働的な学習」により、分かりやすく学びが深まる授業を展開しており、机を動かしてのグループワークやペアワークを数多く取り入れ



ています。このテニスボールの設置により、生徒が集中して学習に取り組める環境がより一層整いました。テニスボールを提供していただいた松江南高校の皆様に改めて感謝申し上げます。

## 3年生が今年度2回目の林業体験学習を行いました

10月7日（金）、3年生が今年度2回目となる林業体験学習を行いました。この学習は、中山間地域（里山）の持続可能な自然環境保全や創造的活動について体験的に学ぶとともに、キャリア教育の一環として島根県の林業を深く知ることを目的に、島根県農林水産部が所管する「高校生の林業教育推進事業」に掛合分校が申し込むことによって実現した企画です。7月に島根県中山間地域研究センターと島根県立農林大学校林業科（ともに飯石郡飯南町）におい第1回目の研修を行いました。今回はその第2回目となります。



この日は、来島交流センター（飯石郡飯南町）で全体説明を受けたあと、NPO法人もりふれ倶楽部が所有する演習林に移動し、班に分かれて枝打ち・間伐・丸太搬出等の体験学習を行いました。高所での枝打ちや切り出した丸太の運び出しなど、全員が集中して作業に取り組み、用意されたプログラムを安全に取り組むことができました。島根県が誇る林業の高い技術力を肌身で感じる貴重な体験をさせていただきました。

## 部活動報告

### ～陸上新人戦、演劇同好会地区予選、演劇ドキュメンタリー映画～

《ASR部（体育系専門部）》

島根県高校新人陸上競技大会（9月17日・18日、益田陸上競技場）

高見陸さん（2年） 男子 1500m 予選2位通過、決勝12位  
2年男子 5000m 決勝9位

《演劇同好会》

島根県高文連演劇発表会予選大会（9月17日・18日、島根県民会館）

曾田昇吾さん（3年） 『走れ！山月記』（一人芝居） 優秀賞・特別賞、県大会出場権獲得



## 演劇同好会ドキュメンタリー映画快進撃！

演劇同好会の活動を追った折口慎一郎監督のドキュメンタリー映画『走れ！走れ走れメロス』が、第14回下北沢映画祭（9月23日～25日開催）のコンペティション部門にノミネート（応募数390作品中9作品）され、下北沢商店連合会会長賞、小田急電鉄賞、観客賞、審査員特別賞の4つの賞を受賞するという快挙を成し遂げました。今後の県内での上映会の予定は次のとおりです。

11月12日（土） 島根県民会館（「しまね映画祭」の一作品として上映）

11月20日（日） 掛合交流センター（午前と午後の2回上映）



# かけこう通信

令和4年度第7号  
令和4年11月17日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

☆☆掛合の丘に輝く分校の灯☆☆ ~掛合分校は令和5年(2023年)に創立70周年を迎えます~

## 《予告》12/1(木)「日比谷しまね館」雲南市ブランド米特別販売会

このたび、掛合分校2年生が取り組んでいる「掛合分校がうんなんのお米を応援するプロジェクト」の一環として、「日比谷しまね館」(東京都千代田区有楽町、日比谷シャンテ地下1階)において、雲南市ブランド米「たたら焔米(ほむらまい)」(プレミアムつや姫、新米)の特別販売会を下記のとおり行います。2年生東京研修旅行の研修プログラムの一つとして行います。

- (1) 期日 令和4年12月1日(木) 14:00~17:00
- (2) 場所 日比谷しまね館(東京都千代田区有楽町、日比谷シャンテ地下1階)「ご縁ステージ」
- (3) 「掛合分校がうんなんのお米を応援するプロジェクト」について

掛合分校2年生24名が、島根県雲南市で田植えや稲刈りを体験しながら「生産者と消費者の皆様が心から喜んでもらえるようお米をPRし



オリジナルキャラクター  
「カケコンとほむらちゃん」

よう！」をミッションにオリジナルPR活動を企画。オリジナルキャラクター「カケコンとほむらちゃん」をはじめPR動画・ポスター等の制作、生産者の方へのインタビューなどを通してお米の特徴を探りながら、ご飯に最も合う料理レシピの開発など試行錯誤を繰り返してきました。島根の高校生による学びと思いが詰まった販売会、ぜひお越しください！



## 遠足に行きました

10月14日(金)、全校生徒で松江市に遠足に行きました。はじめに宍道湖畔に到着し、学年ごとに渡船に乗船し、嫁ヶ島に渡りました。宍道湖の夕照の景色には欠かせない島として有名な嫁ヶ島ですが、教職員・生徒ともほとんどが初めての体験となります。この日は、NPO法人「水の都プロジェクト協議会」の皆様のご厚意により、案内をしていただきました。ガイドの方から、もともと火山島であったという嫁ヶ島の歴史や、島上にある竹生島(ちくぶしま)神社の祠、漢詩を刻んだ詩碑などについて詳しく説明をいただきました。



その後、島根県立美術館で開催されている「祈りの仏像」展を見学しました。展示された仏像には、国の重要文化財に指定された優作も多く、心洗われるひとときを過ごすことができました。この日は秋晴れのさわやかな天候に恵まれ、午後の松江城周辺散策など、島根県の歴史・文化を再発見する、とても有意義な遠足となりました。

## 1・2年生の進学希望者を対象に「県内 専門学校ガイダンス」が行われました

10月27日（木）、掛合体育館において、島根県内の専門学校を招いた進学ガイダンスが行われました。掛合分校からは1・2年生の進学希望者が参加し、同じく参加した飯南高校、横田高校の生徒とともに、各ブースに分かれて説明を聞きました。

この日は、県内各地から10校の専門学校がブースを開き、生徒たちはそのうち希望する3校の説明を順次聞きました。学校の特徴や取得できる資格等について、専門学校の担当者から直接説明を受ける貴重な場であり、今後の進路検討にあたって大変参考となる有意義な機会となりました。



## 掛合小学校との合同避難訓練を行いました



11月8日（火）、同じ敷地内に隣接する掛合小学校との合同避難訓練を行いました。地震や火災はもちろん、昨今は暴風雨による浸水被害や土砂災害も警戒されます。いざ災害が発生した場合を想定して、まずは教室での安全確保、その後避難経路を確認し、非常階段からグラウンドへ避難するといった流れで行いました。小学生も同様に、高校生の誘導によりグラウンドに速やかに避難することができました。

実際に災害が発生した場合は、この日行ったように高校生と小学生が同時に同じ場所に避難することが想定されます。今後もあらゆる場面で、小学校と連携した危機管理体制を構築していきます。

## 2年生「東京研修旅行」事前学習を進めています ～岩本悠さん「グローバル」講演会、販売実習マナーアップ研修～

2年生は11月30日（水）から12月2日（金）の2泊3日の予定で、東京方面へ研修旅行に出かけます。その事前学習が進んでいます。

11月8日（火）、その第1弾として、地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事（島根県教育庁教育指導課教育魅力化特命官）の岩本悠（いわもと ゆう）さんをお迎えし、「しまねを元気に～グローバルな視点でしまねを盛り上げよう～」と題して講義・演習を行っていただきました。2年生は東京研修旅行において、「東京から島根を元気にする活動を続ける人たちとの対話」として、日比谷しまね館館長様、株式会社アルプロン社長様、島根県選出の国会議員様と、対話形式による班別学習活動を行うこととしています。今回の学習は、このプログラム実施を前に、地域活性化のための「グローバルな視点」を学ぶことを目的に行いました。最初に、岩本さんから自らが中心となって行



った隠岐郡海士町の魅力化・地域活性化の取り組みなどについて講義をいただきました。その後、グループに分かれ、「島根・雲南の魅力（強み）を活かしてこれかも住みよい地域づくりをするためには」

と題して意見交換の後、グループごとに発表を行いました。岩本さんからは、「～がない」というのは別の見方をすればチャンスである、あるものをどのように活かしていくのかが大事だ、との講評をいただきました。

また、11月10日（木）、「日比谷しまね館」で行う雲南市ブランド米特別販売会を前に、マナーアップ研修を行いました。講師として、マックスバリュウ出雲今市店の綾部賢祐さん、同じくマックスバリュウJU米子高島屋店の村上育美さんをお招きし、実践的な講習を行っていただきました。お客様と



向き合う際の姿勢や態度、お客様との対話の仕方等について、プロの視点から具体的に分かりやすくご指導いただきました。

東京研修旅行に向けてますます意識が高まる学習会となりました。

## 道の駅「掛合の里」再生に向けて1年生が発表しました

11月12日（土）、雲南市掛合町内にある道の駅「掛合の里」交流の館において、雲南市主催による同道の駅の今後の活性化策を考えるワークショップが開かれ、集まった地域の皆さんを前に、1年生が発表を行いました。道の駅「掛合の里」は、平成元年に全国で初めて登録された「第1号の道の駅」として知られる掛合町の観光拠点です。この日は、地域住民約30人が集まり、ワークショップ形式で、道の駅の今後の利用拡大に向けて自由に意見交換を行いました。



掛合分校の1年生は「総合的な探究の時間」を利用して、掛合町内5地区（波多、入間、掛合、松笠、多根）のグループに分かれて「地域探究学習」を行っており、この日は、ワークショップの冒頭で、掛合地区を担当したグループが、これまで考えてきた「道の駅再生プラン」を発表しました。この発表をたたき台として、その後、集まった人たちがグループディスカッションを行いました。1年生がこれまで学校内で考えてきたことを、地域貢献のための具体的な「実行」に移す、とても貴重な機会となりました。



## 快挙!! 演劇同好会 県大会最優秀賞! 中国大会へ!



11月4日（金）と5日（土）の2日間にわたって、島根県民会館において島根県高文連演劇発表会島根県大会が行われ、掛合分校演劇同好会の曾田昇吾さん（3年）が『走れ! 山月記』の演目で一人芝居を行い、見事、最優秀賞を獲得しました。4日（金）に行われた舞台では、最高のパフォーマンスを披露し、審査員から絶賛の講評をいただきました。

結果は、掛合分校と三刀屋高校本校の2校が最優秀賞に輝き、三刀屋高校本分校が上位を独占するという快挙を成し遂げました。この2校が12月24日（土）に山口県下関市で行われる中国大会への出場権を獲得しました。中国大会での更なる飛躍を目指して、「走れ! 曾田さん!」エールを送ります。

# 令和4年度文化祭「掛高祭2022」

11月4日（金）と5日（土）の2日間にわたって、「想友（そうゆう）～仲間とともに最高の思い出を～」をテーマに、掛合分校文化祭「掛高祭2022」を行いました。保護者の皆様、地域の皆様をはじめ多くの皆様のご支援・ご協力のおかげで、大盛会のもとに開催できました。ありがとうございました。

## ○探究学習成果発表

- ・1年生：掛合町内5地区のグループごとに「地域探究学習」の成果を発表しました。このうち多根地区グループは伝統行事である神楽について調べ、それを継承していく活動について発表しました。また、掛合町の郷土芸能継承を目的に練習してきた「掛合太鼓」の演奏を全員で行いました。
- ・2年生：雲南市、宇山営農組合（雲南市吉田町）、その他関係機関と協働しながら取り組んできた「雲南市のお米を応援するプロジェクト」について発表しました。オリジナルキャラクターやPR用ポスターなどを制作しました。Tiktok 動画を含めた3本のPR動画を、初公開しました。
- ・3年生：学校設定科目「地域創造」の中で行ってきた、雲南市ツーリズムプランについて、4グループに分かれてポスター発表をしました。来場の保護者の皆様、地域の皆様に交えながら、質疑応答形式で意見交換をしました。

## ○各部・同好会・委員会発表

- ・演劇同好会：「走れ！メロス」の公演を行いました。演劇部顧問を含めた3人の出演による演劇で、軽快な演技の中に笑いもあり、楽しく観劇しました。
- ・うたぶ（U t a b u、歌唱同好会）：有志による歌唱や演奏・ダンスを行い、それぞれ個性溢れる見事なパフォーマンスに会場内は大盛り上がりでした。
- ・図書委員会ビブリオバトル：4人のバトルがそれぞれ好きな本を紹介しました。松原拓生さん（2年）が最優秀バトルとなり、12月に大田市で開催されるビブリオバトル島根県大会への出場者権を獲得しました。

## ○生徒会執行部企画

- ・ゲーム「謎解きクイズ」：全校生徒がグループに分かれ、会場内にある様々なヒントを手がかりに答えを探りました。すべてのグループの回答を組み合わせると「来年は70周年」ということばとなる手の込んだ仕掛けでした。

## ○地域との連携、物品販売

- ・掛合町文化協会の皆さんの展示・発表：各種アート作品の展示をはじめ、会場向かいの交流センターで楽器演奏・コーラスなどの発表がありました。
- ・掛合保育所園児による「掛合太鼓」：かわいらしい園児たちの演奏に、会場内はとても和やかなムードに包まれました。
- ・雲南市ブランド米特別販売会：2年生による「うんなんのお米を応援するプロジェクト」の一環で行われ、昨年度を上回る来客者で大盛況となりました。
- ・フードデザイン選択者焼き菓子販売：フロランタンとクッキー、最高でした。
- ・PTAカフェ：ホットドリンクで身も心も温まるひとときを過ごしました。





# かけこ通信

令和4年度第8号  
令和4年12月14日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

☆☆掛合の丘に輝く分校の灯☆☆ ～掛合分校は令和5年（2023年）に創立70周年を迎えます～

## 1年生が地域の伝統行事「はやしこ奉納」に参加しました

11月14日（月）、雲南市掛合町波多地区の伝統行事である「はやしこ奉納」が行われ、1年生がその踊り子として参加しました。「はやしこ奉納」は掛合町波多地区において古くから行われてきた伝統行事で、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響もあり、3年ぶりの開催となりました。

1年生は「総合的な探究の時間」に、掛合町内5地区（波多、入間、掛合、松笠、多根）にグループで分かれ、各地区の現状と課題を調べ、課題解決に向けた提案を行う学習を行っています。波多地区を担当したグループは、この伝統行事を通して地域の活性化を図ろうと企画し、このたび、1年生全員で参加することになりました。

この日は天候にも恵まれ、生徒たちは、これまで練習してきた太鼓を叩きながら町内を練り歩きました。地域の伝統行事に多くの若者の力が加わり、地域にたくさんの笑顔があふれる1日となりました。



## 2年生が職業体験学習(インターンシップ)を行いました



11月15日（火）から17日（木）の3日間にわたって、2年生がそれぞれ希望する事業所等に分かれて、職業体験学習（インターンシップ）を行いました。この3日間は雲南市内を中心に20の事業所等にご協力をお願いし、2年生24名がそれぞれ仕事の体験を行いました。このうち合同会社きすき技研では、小学生向けプログラミング教室で使用するミニロボットの可動性を確かめ、プログラムの修正を行いました。また雲南市立加茂小学

校では、実際に教室に入り、学習支援員の体験をさせていただきました。

2年生にとっては、学校で学ぶことのできない、将来社会人として生きていくために必要な資質・能力を学ぶ大変貴重な機会となりました。ご協力いただいたすべての事業所等の皆様に感謝申し上げます。



## 東京からふるさと島根を見つめる ～2年生研修旅行～

11月30日（水）から12月2日（金）の2泊3日で、2年生が東京研修旅行に出かけました。研修旅行全体を通じたテーマは、「東京からふるさと島根を見つめ、地域の良さを再発見する」ことです。

1日目は、羽田空港到着後、国会議事堂に向かい、参議院を見学しました。本会議場をはじめ、日本の政治の中心を見ることができました。その後、班に分かれ、都内を散策しました。

2日目の午前は、浅草寺と東京スカイツリーを見学しました。午後は、2年生が今年度取り組んできた「うんなんのお米を応援するプロジェクト」の一環として、「日比谷しまね館」において、雲南市ブランド米「たたら焰米(ほむらまい)」



の特別販売会を行いました。当日は、たくさんのお客様にお越しいただき、みんなが笑顔で販売実習を行うことができました。また班別に、日比谷しまね館の田中律子館長様、ふるさと島根定住財団の錦織なな子様、株式会社アルプロンの坂本雅俊代表取締役CEO様、参議院議員の三浦靖様、衆議院議員の高見康裕様に、それぞれ貴重なお話をいただき、対話をさせていただきました。東京にしながら、ふるさと島根をより深く知り、地域貢献意識をより一層高める、大変有意義な研修となりました。



3日目は、天候にも恵まれ、みんなお楽しみの東京ディズニーランドを満喫しました。多くの関係者の皆様のご協力のもとに、充実した研修旅行を行うことができました。すべての皆様に感謝申し上げます。



## 出商デパートで「たたら焰米(ほむらまい)」と「うやま米」を販売していただきました

12月3日(土)、出雲商業高校で毎年恒例の「出商デパート」が開かれ、掛合分校2年生が販売促進活動に取り組んでいる「たたら焰米(ほむらまい)」と雲南市吉田町民谷宇山地区産の「うやま米」を販売していただきました。今年度初めて、掛合分校からあらかじめ出荷の申し入れを行い、出雲商業高校様からはころよく販売を引き受けていただきました。出雲商業高校様には工夫を凝らした商品陳列をしていただき、足を止めて買い求めるお客様も多く見られました。



今後も各所に販売チャネルを増やし、生産者と消費者に喜んでいただける活動を続けていきます。

## 部活動等報告 ～秋季写真コンクール、ビブリオバトル県大会～

《写真クラブ》

島根県高文連写真専門部秋季写真コンクール 特選2点(入選は5点)

土屋拓万さん(3年)『水も滴るいい白鳥』

加藤凜さん(1年)『寝静まる前に』

《図書委員会(文化祭での校内予選会最優秀者)》

全国高校ビブリオバトル2022島根県大会出場

松原拓生さん(2年) 真下みこと作『茜さす日に嘘を隠して』の紹介



土屋拓万さん作品『水も滴るいい白鳥』



加藤凜さん作品『寝静まる前に』



# かけこう通信

令和4年度第9号  
令和5年1月13日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

☆☆掛合の丘に輝く分校の灯☆☆ ~掛合分校は令和5年（2023年）に創立70周年を迎えます~

## 3年生が「多文化共生」について学びました



12月15日（木）、3年生の学校設定科目「地域創造」の時間に、「多文化共生」について学びました。この日は、一般社団法人ダイバーシティうんなん toiro 代表理事の芝由紀子さんと李在鎮さん、掛合交流センター長の白築敏彦さんをお招きし、途中ワークショップや質疑応答を含めながら、2時間の学習を行いました。芝さんからは、雲南市の多文化共生事情について説明いただき、韓国出身である李さん

との対話形式で、外国人住民の困りごとや「やさしい日本語」などについて学びました。また、白築さんからは、現在掛合町で行われている取組をお話しいただき、日常生活はもちろん、病気になった時や災害が発生した時にも「誰もが安心・安全に暮らす町づくり」について、話し合いながら考えました。

## 2年生「うんなんのお米を応援するプロジェクト」で地域に貢献 ~雲南市長への成果報告、「ブランド米振興大会」での成果発表~

12月15日（木）、2年生代表生徒が雲南市役所を訪れ、雲南市の石飛厚志市長、吉山治副市長、景山明教育長に、東京で行った雲南市ブランド米「たたら焔米（ほむらまい）」特別販売会の成果について報告しました。2年生は、



11月30日から12月2日にかけて東京研修旅行に出かけ、島根県のアンテナショップ「日比谷しまね館」において、「たたら焔米」の特別販売会を行いました。当日はたくさんの来客者に雲南市産の美味しいお米をPRしましたが、この日は、販売会までの準備の過程と当日の様子などについて報告しました。石飛市長からは、これまでの活動へのねぎらいの言葉をかけていただき、今後の取組に向けてメールを送っていただきました。また、石飛市長、吉山副市長、景山教育長には、パッケージにオリジナルキャラクター「カケコンとほむらちゃん」のシールが貼られたお米をご購入いただきました。

また、12月20日（火）、雲南市木次町のチェリヴァホール大会議室において「令和4年度雲南市ブランド米振興大会」が開かれ、2年生代表生徒が、今年度取り組んできた「掛合分校がうんなんのお米を応援するプロジェクト」について発表しま

した。この日は、石飛市長をはじめ、県・市の担当者や雲南市内

の営農事業者など多くの列席者を前に、オリジナルキャラクターやPRポスターの制作過程、試行錯誤を重ねてきたご飯に合う料理レシピの開発



生徒制作PR用ポスター



生徒制作オリジナルキャラクター「カケコンとほむらちゃん」

などについて発表しました。最後に、作成したPR動画を上映し、今後の活動について説明しました。列席された多くの方から、これまでの取組について賞賛の言葉をいただき、今後ともに雲南市ブランド米をPRしていこうとの激励の言葉をかけていただきました。

## 個人課題研究(卒業研究)の成果発表会を行いました

12月20日(火)、3年生個人課題研究(卒業研究)の校内成果発表会を行いました。3年生はこれまで「総合的な探究の時間」を利用して、各自が自身の進路に関係したことや生活上の身近な困り感などについて自由にテーマを設定し、その解決に向けた仮説を立て、検証していくという学習活動を行ってきました。この日は、3年生全員が2年生に向けて発表を行い、その様子を1・3年の教室にリモート配信しました。また、保護者をはじめ学校関係者の皆様には、視聴者限定のYouTubeでライブ配信とアーカイブ配信を行いました。



研究テーマは高校生らしくユニークで斬新なものばかりで、「自己管理のための手帳の有効な使い方」「集中して勉強に取り組むための手法」「食事や睡眠など生活習慣を改善するための取組」など、生活に密着した内容のものが多く見られました。また、「伊達政宗の直筆の手紙に隠された意味について文献調査した研究」や「頭痛との付き合い方について医師へのインタビューをまとめた研究」など、専門的分野を深掘りする内容のものもたくさん見られました。

研究に取り組んだ3年生は、その過程で多くの困難もあったと思いますが、たくさんのトライアンドエラーを重ね、また一段と成長した姿を見せてくれました。この個人課題研究(卒業研究)は、今後も次の2年生・1年生へと引き継がれ、掛合分校の良き伝統として継承されていきます。

## 第2回掛高基礎力テスト(掛合分校オリジナル実力テスト)を行いました

1月10日(火)、今年度第2回目となる「掛高基礎力テスト」を行いました。このテストは毎年度2回ずつ行っているもので、出題を掛合分校の全ての教職員が担う、掛合分校オリジナルの実力テストです。第2回目となる今回は、特に思考力・判断力・表現力を問う問題を中心に出題されました。試験後は、第1回目と同様に、問題作成者である13人の教職員が、順次リモートで解説を行いました。



## 部活動報告 ～演劇同好会～

## 分校史上初！演劇中国大会で見事優秀賞(第3位)受賞

第60回中国地区高等学校演劇発表会(12月24日・25日、山口県・下関市民会館)

曾田昇吾さん(3年) 『走れ！山月記』(一人芝居) 優秀賞(第3位)





# かけこ通信

令和4年度第10号  
令和5年2月13日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

☆☆掛合の丘に輝く分校の灯☆☆ ~掛合分校は令和5年（2023年）に創立70周年を迎えます~

## 3年生が「多文化共生」について学びました

1月12日（木）、3年生の学校設定科目「地域創造」の時間に「多文化共生」について学びました。12月15日に引き続いて今年度第2回目となります。第1回目の学習会と同様に、一般社団法人ダイバーシティうんなん toiro 代表理事の芝由紀子さんに全体進行をお願いし、今回は雲南市国際交流員、ALTなど外国人の方との交流を交えながら学習を進めました。

今回は「外国人が安心・安全に暮らす町づくりの現状を知る」ことをテーマに、掛合交流センターと掛合診療所を訪問させていただき、それぞれの施設等を見学しながら、ピクトグラムを使った案内表示など外国人の方への配慮や工夫についてお話を伺いました。施設見学後には、掛合診療所から、医師、看護師、事務局長の3名の方に来ていただき、質疑応答形式でお話を伺いました。掛合診療所では、月に1~2名の外国人の方が来院されており、数年前に三刀屋高校の生徒とともに作った、多言語で書かれた問診票の様式を活用し、それが実際に外国人の方を診療する際に大変役に立っているとのことでした。外国人を含めたすべての人に優しい町づくりについて、地域の方とともに考える大変有意義な学習会となりました。



## 演劇同好会が中国大会優秀賞(第3位)受賞を雲南市長に報告しました

1月13日（金）、掛合分校演劇同好会の曾田昇吾さん（3年）が雲南市役所を訪れ、中国地区高等学校演劇発表会の結果を石飛厚志市長に報告しました。同大会は12月24日・25日に山口県下関市で行われ、曾田さんは「走れ！山月記」の演目で一人芝居を行い、見事優秀賞（第3位）を受賞しました。

この日は、同大会で最優秀賞を受賞した三刀屋高校演劇部の2人の生徒とともに、雲南市の石飛厚志市長、景山明教育長に大会結果を報告しました。石飛市長からは大会結果への称賛と、今後の更なる飛躍に向けて激励の言葉をいただきました。曾田さんの今後のますますの活躍が期待されます。



## 2年生が「島根の林業」について学びました

1月26日（木）、島根県東部農林水産振興センター雲南事務所と飯石森林組合の職員の方をゲストティーチャーとしてお招きし、2年生を対象に、島根県の林業についての学習会を行いました。この日



は、ドローンを使った山地の測量など、デジタル化された島根県の林業の先進性について実際の映像を見ながら詳しく学ぶことができました。2年生は、来年度、島根県中山間地域研究センターや島根県農林大学校林業科(ともに飯石郡飯南町)を訪れ、林業の体験学習を行う予定です。島根県の林業について知識を深める、大変有意義な学習会となりました。

## 地元企業ガイダンスを行いました

1月27日(金)、1・2年生を対象に「地元企業ガイダンス」を行いました。この日は、掛合交流センターに地元雲南市の企業等13社が一堂に会し、生徒向けに説明をしていただきました。生徒はあらかじめ希望登録した4社のブースを順次回りながら、各企業等の説明を聞き、質問に答えていただきました。

いずれの企業等も、映像を投影したり、実物サンプルを見せたりしながら工夫を凝らした説明を行っていただきました。掛合分校は地元での就職を希望している生徒が多く、将来の進路選択に向け、大変有意義な時間となりました。

＜参加企業等＞株式会社ゼンキンメタル様、株式会社中澤建設様、島根イーグル株式会社様、株式会社たなべたたらのお米様、株式会社アルプロン島根工場様、特別養護老人ホームえがおのお米様、三刀屋金属株式会社様、飯石森林組合様、株式会社ダイイチ雲南家電様、株式会社協栄ファスナー工業様、有限会社堀江クレーン様、株式会社吉田ふるさと村様、協栄金属工業株式会社様



## 「しまね探究フェスタ2022」で「うんなんのお米応援プロジェクト」について発表しました

2月3日(金)、くにびきメッセ(松江市)において「しまね探究フェスタ2022」が開催され、掛合分校2年生代表生徒が、今年度1年間かけて取り組んできた「掛合分校がうんなんのお米を応援するプロジェクト」について発表しました。「しまね探究フェスタ」は、島根県のすべての高等学校の代表者が集い、探究学習の成果について発表し、参加者同士共有するイベントです。県内すべての学校が一堂に会し行われるのは、今年度が初めてとなります。

掛合分校代表生徒は、雲南市産ブランド米の販売促進のために作成したPRポスターやオリジナルキャラクター、お米に合う料理レシピなどを紹介し、実践活動として行った東京「日比谷しまね館」における特別販売会の様子や作成したPR動画を披露しました。発表後には、他校の生徒と発表内容について意見交換を行い、これまでの取組の振り返りを行いました。

この日の様子はライブ配信され、掛合分校の全校生徒が発表の様子を視聴することができました。また、参加した生徒にとっては、発表だけでなく、他校生徒との交流の時間が多く取られ、とても有意義な学びの場となりました。今後も県内すべての学校が切磋琢磨しながら、このような探究学習の輪が広がることを期待します。





# かけこう通信

令和4年度第11号  
令和5年3月14日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校 発行

☆☆掛合の丘に輝く分校の灯☆☆ ～掛合分校は令和5年（2023年）に創立70周年を迎えます～

## 令和4年度卒業証書授与式を行いました

3月1日（水）、景山俊太郎後援会長、山根信夫PTA会長、小川真里学校運営協議会会長を来賓としてお迎えし、令和4年度掛合分校卒業証書授与式が挙行され、卒業生19名に卒業証書が手渡されました。

山崎誠校長の式辞では、卒業生に対し「小さな挑戦、小さな気遣いを積み重ねながら、大きな志を持って夢や希望に向かって羽ばたいてほしい」とはなむけの言葉が送られ、卒業生それぞれが



3年間の掛合分校での思いを胸に、晴れやかな笑顔で学校を巣立っていきました。卒業式後には、この日のために学校に駆けつけていただいた地域の皆様とともに、玄関前で在校生・教職員が「3月9日」（曲：レミオロメン）を合唱し、皆で卒業生の門出を祝いました。



今年度の卒業生は、新型コロナウイルス感染症が全国に蔓延する中で高校3年間を過ごしました。制約の多い学校生活の中で、たくさんの困難や苦勞もあったことと思いますが、全員が互いを助け合いながら、自己を磨き、心身を成長させていきました。社会全体が大きな変革期を迎える中、卒業生たちは社会に旅立っていきます。掛合高校卒業生のこれからの人生に幸あれ！

## 3年生が1・2年生に進路実現に向けた取組について語りました

2月22日（水）、卒業を控えた3年生が、1・2年生に自身の進路実現に向けた取組について語る学習会を行いました。「先輩は語る」と題したこの取組は、掛合分校の伝統行事として毎年度2回行っています。7月に卒業生4名からお話をいただいた第1回目につき、第2回目となる今回は、4月から新たな道に進む3年生に、今年度の進路実現に向けた準備や心構えなどについて語っていただきました。

進路の種別ごとに5会場に分かれ、1・2年生はいずれかの3会場を回るという形式で行いました。1・2年生は今後の進路選択に向け、たくさんの質問を投げかけながら熱心に聞いていました。“進路実現の掛高”掛合分校のキャリア学習は、こうして先輩から後輩へと語り継がれながら育まれます。



## 「要約学習」を行いました

3月3日（金）と6日（月）、飯南町教育委員の烏田勝信先生を講師としてお招きし、1・2年生を対象に「要約学習」を行いました。「要約学習」とは、烏田先生オリジナルの教材を使って、文章や人の話の要点を図式化し、内容を構造化して捉える力を育成する学習です。掛合分校では昨年度からこの学習に取り組んでおり、今年度も引き続いて学習に取り組みました。

授業では、いくつかの文章を各自ワークシートに図式化し、互いに文章の要点をスピーチ（プレゼンテーション）する演習を行いました。最初は平易な文章から始め、徐々に論理的で専門的な内容の文章にもチャレンジしました。また、「掛合分校の良いところ」について自分の考えの要点をまとめ、スピーチする演習も行いました。今後、「地域をフィールドとした探究学習」など様々な場面でのプレゼンだけでなく、将来の進学・就職に向けたキャリア教育の視点からも、大変効果のある学習となりました。



## 雲南市スペシャルチャレンジJrプログラムの報告会と次年度説明会を行いました

3月10日（金）、雲南市スペシャルチャレンジJrプログラムの今年度の成果報告と、次年度のこのプログラムへの参加説明会を行いました。雲南市スペシャルチャレンジJrプログラムは、高校生が自ら考えたオリジナルのプロジェクトの実現に向け、雲南市が様々な形で支援をする取組です。この日は、今年度プログラムに参加した坂田志織さんと上代侑芽さん（いずれも2年）が、「柿ジャムサンドを作ろう！！」と題したプロジェクトの取組と成果について全校生徒に報告しました。雲南市掛合町多根地区で課題となっている柿による獣害対策のために、

余剰柿を使った「柿ジャムサンド」のレシピを開発し、それを地域の方と一緒に作るイベントを開くという取組は、地域の方たちがともに楽しみながら課題を克服しようという思いが込められており、子どもから大人まで、地域の交流を深めるといった効果も生まれました。来年度第6期生も、掛合分校からたくさんの生徒がチャレンジしてくれることを期待しています。



## 部活動報告～演劇同好会～

# 東京・下北沢全7回公演 満員御礼！

3月10日（金）から12日（日）の3日間、演劇同好会の卒業公演が東京・

下北沢の「劇」小劇場で行われました。全7回とも満席となる大盛況で、公演後は拍手がなりやまず、演劇の聖地、下北沢においても掛合分校演劇同好会の力が高く評価されました。駅前には公演の広告動画が流され、道行く人も足を止めていました。掛合分校の名が全国に知れ渡る歴史的公演となりました。

